



緻密な計測をサポート

三次元計測プログラムカード (オプション)

MONMO3
MONO MOBILE 3-D STATION



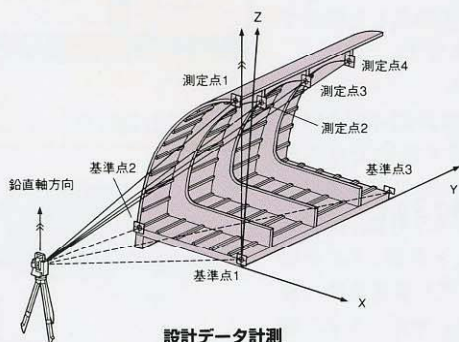
設計データの再現、設計データと測定データを現場で比較可能

三次元計測プログラムカードの多機能な計測プログラムにより、現場での計測をバックアップ。カードから本体へ一度インストールすれば、本体内のプログラムメモリーに記憶されますので、以後のプログラムカードによる操作は一切不要です。プログラムには標準計測のほかに「設計データ計測」と「測位計測」を用意。ど

ちらの方法でも事前に測定点のデータを入力しておけば、現場で設計データの座標系を再現し、各測定点における設計データと実際の測定データとの比較を行いながら、測定データの記録ができます。

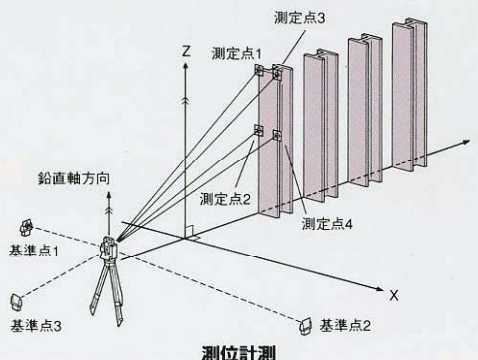
●形状測定に有効な設計データ計測

設計データ計測の座標系は、設計データをもつ任意の3点～6点を測定することで自動的に設定されます。被測定物上の点を測定し、座標系を設定することでX、Y、Z軸は被測定物上の座標系と一致。被測定物が傾いて設置されていたり、180度回転された場合でも、設計データと実際の測定データの比較を行いながら測定が可能。船舶や橋梁など大型構造物の部材形状測定に有効です。



●位置決め、変位測定に有効な測位計測

測位計測は、設計座標データの任意の2点～6点の測定により自動的に座標系が設定されます。ただし、XY面は水平、Z軸は鉛直方向になります。例えば、測量分野で使われる基準点などを測定することで座標系を決定。位置データとなる設計座標データと実際の測定データの比較を行いながらプラントの位置決めや据え付けが行えます。また、初期設定データを設計座標データとして変換し、その後の測定データとの比較も行えます。トンネルなどの変位測定に有効です。



標準計測の3つの座標系設定方法

NET2000は機動性に優れた測定機。被測定物を観測しやすい任意の点に設置し、任意の2点～3点を観測するだけで座標系が設定され測定が開始できます。標準計測には、測定物の解析

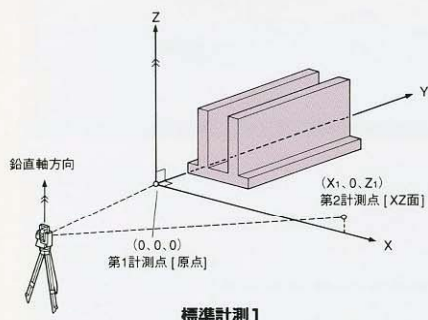
が容易なように3つの座標系設定方法を用意。被測定物の設置状況などに応じて自由に選択することで測定後の座標変換を効率化しました。

■座標系の設定方法

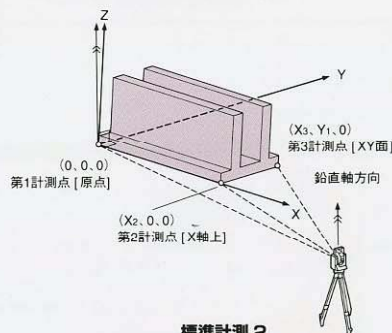
1. 第1計測点を原点(0,0,0)とし、第2計測点をXZ面上の(X1,0,Z1)、Z軸は鉛直方向として2点による座標系設定。

2. 第1計測点を原点(0,0,0)とし、第2計測点をX軸上の点(X2,0,0)、第3計測点をXY面上の点(X3,Y1,0)、Z軸はXY面に対し直角となる3点による座標系設定。

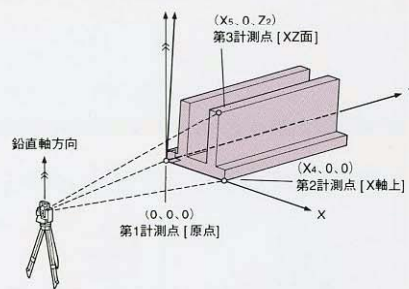
3. 第1計測点を原点(0,0,0)とし、第2計測点をX軸上の点(X4,0,0)、第3計測点をXZ面上の点(X5,0,Z2)、Y軸はXZ面に対して直角となる3点による座標系設定。



標準計測1



標準計測2



標準計測3

その他の便利な機能

- ・座標系の接続 (大型構造物など、同一の座標系で測定する場合に役立ちます。)
- ・自在なデータ変換
- ・測定方法に正反観測モード
- ・現場で解析と確認が可能
- ・設計データによる現場での位置出しが可能